

式 辞

広島城の木々も、固く閉ざしていた芽をふくらませ、そこかしこに春の訪れを感じさせる今日のよき日、広島市教育委員会委員長 井内康輝様、PTA 会長 湯崎俊彦様をはじめ、本校に縁のある多くの方々のご臨席を賜るとともに、保護者ご家族の皆様のご列席のもと、広島市立基町高等学校第六十四回卒業式を盛大に挙行できますことは、本校にとってこの上ない喜びであり、深く感謝申し上げます。

只今、351名の生徒の皆さんに卒業証書を授与いたしました。皆さんは、入学以来、校訓「自主自律」のもと、本校教育課程を無事修了し、今日を迎えました。教職員を代表して、皆さんの卒業を心よりお祝いたします。

この間、皆さんは、ひたむきに学術や芸術の習得と探究に励み、知性や技能を大きく伸ばしてきました。皆さんは、旺盛な向上心や知的好奇心をもとに、知識や技能を次々と吸収していく素晴らしい生徒でした。また、それらを部活動や学校行事などにおいて、応用し活用する中で、思考力や判断力、表現力を身に付け、数多くの成果を収めました。また、学校生活の様々な場面を通じて、心身を鍛えるとともに、一生の財産となる仲間との友情を育んできました。皆さんの、学業のみならず部活動や学校行事にも全力で取り組む姿は、私たち教職員にとって、誇りであり、エネルギーの源でした。私たちは、皆さんのたゆまぬ努力に敬意を表するとともに、この基町高校において皆さんと出会い、ともに学びを究めることができたことに大きな喜びを感じ、心から感謝する次第です。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。今日まで、育ててこられたご苦勞を思い起こされ、感慨も一入のことと推察いたします。卒業生一人ひとりも、保護者の皆様の深い愛情と支援があつてこそ、この日を迎えられたと、感謝の気持ちでいっぱいであらうと思ひます。入学以来、本校教育に深いご理解と並々ならぬご協力を賜り、誠にありがとうございました。お子様は卒業していかれますが、今後とも末長くご縁をいただきますようお願い申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは、世界的に読まれている「The Economist」というイギリスの有名な週刊誌を知っているでしょうか。このエコノミスト誌は1962年に、日本に関する特集記事を掲載し、「日本は米国と並ぶ経済大国に成長する」と予測しました。20年後、その予測は、現実となり、見事に的中したのです。そのエコノミスト誌が、昨年、2050年の世界の姿を人口、経済、技術、病氣、環境など20の分野に渡って予測しました。その中には、日本についての予測も含まれています。2050年、すなわち皆さんが55歳になるころ、日本は平均年齢が52.3歳に達し、前代未聞の老人国家となっています。健康長寿は大変喜ばしいことですが、労働力人口が減って国全体の収入が減るだけでなく、医療や介護などに莫大な支出が必要となります。また、2010年に全世界の5.8%を占めた日本のGDPは、経済のグローバル化により次第に国際競争力を失い2050年には3分の1の1.9%にまで落ち込みます。したがって、国民一人あたりのGDPは、アメリカや韓国の半分ほどになっているというのです。

この予測通りになってしまうかどうかは、次代の日本を担う皆さんにかかっています。無論、経済的な繁榮だけが、国民の幸福をもたらすものではありませんが、重要な要素であることは間違いありません。では、高齢化とグローバル化という二つの波によつてもたらされる日本衰退の予想を覆すには、どうすればよいのでしょうか。少子化対策を行うな

ど、高齢化を回避する努力も必要ですが、長い期間を要するとともに困難な課題です。したがって、厳しい国際競争に打ち勝つ産業を育て GDP を大きく押し上げることが求められます。そのためには、他国の追随を許さない高度な技術をすでに有している産業をさらに発展させることが必要です。それだけでなく、革命的な新技術や新サービスを我が国から生み出し、新しい産業を興すことが不可欠です。すなわち、高い志とともに、グローバルな視点と知的創造力を備えた若者を育て、日本の国際競争力の向上、ひいては人類の持続可能な発展に繋がる新発見や新技術、新サービスなどの新しい価値を生み出すことが求められているのです。

昨年、iPS 細胞の研究で、山中伸弥京都大学教授がノーベル医学生理学賞を受賞されました。この新技術は、まさに医療の革命であり、失われた機能の回復や創薬によって、これまでは救えなかった命を救うことが期待されています。同時にこれを核として様々な産業を興し、日本産業の国際競争力の向上に繋げることが考えられています。山中教授のような創造力のある人材を様々な分野から生み出すためには、大学などの高等教育の改革はもとより、義務教育や高等学校教育の充実発展が不可欠です。将来、教育者や文教関係の官僚、政治家を志している皆さんにも大きな責任と期待がかけられています。

人には、それぞれの能力に応じ、持てる力を最大限に発揮して社会に貢献する義務があります。現在 18 歳の皆さんは、まだ自分自身の能力や才能を測り切れていないかもしれません。しかし、皆さんにはこれから開花する才能を含め、社会の発展や人々の幸福のために役立つべき優れた力があります。自分の可能性を過小評価したり、固定的に捉えたりするのではなく、本校で実践してきたように、これからも様々な分野の学問やスポーツ・芸術文化に全力で挑戦してください。そうすることで新たな長所や能力を発見することができます。また、それは幅広い見識や教養を身につけることにも繋がります。極度に専門性が高まっている現代の学問研究や職業分野においては、自己の狭い専門領域だけに特化して努力しても、独創的な企画や研究成果は生まれません。国際的な感覚を磨き、異文化から学ぶとともに、異分野の専門家と繋がり、互いを触発し学びあって、新しい価値の創造を目指してください。異分野の専門家と繋がるための素地は、すでに本校を卒業したことでできています。なぜなら、本日、ともに卒業していく仲間は、将来、それぞれの専門分野・職業分野でリーダーとして活躍する人たちばかりだからです。また、本校は、二万五千名を超える卒業生を輩出しており、本校の前身である旧制広島市立中学校出身者を含め、多くの同窓生が各界の第一線で活躍されています。同級生はもとより、先輩や後輩との繋がりも活かして、各界の先頭に立ち、日本や人類の未来を担う人を目指してください。

皆さんは、本校の象徴であるアオギリの木に宿るといふ鳳凰の若鳥として、今日まさに本校を巣立っていきます。基町高校同窓生としての誇りを胸に、皆さんに続く後輩の良き目標となるよう、高く大きく飛翔されることを切に願っています。

最後に、本日ご臨席を賜り、卒業生の前途を祝福していただきました皆様、また、ご列席いただきました保護者ご家族の皆様にも、再度、篤くお礼申し上げ、式辞といたします。

平成二十五年三月一日

広島市立基町高等学校
校長 荒木 猛